

授業科目 社会福祉援助技術各論Ⅰ

【担当教員名】		対象学年	3	対象学科	社会
笠井友治郎		開講時期	前期	必修・選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【概要・一般目標：G10】 個別援助技術（ケースワーク）に関する、理論・価値・倫理および方法・技術について歴史的展開を踏まえながら体系的に学ぶ。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 個別援助技術（ケースワーク）の定義、基本原理・原則について理解する。 2. 個別援助技術（ケースワーク）の成立と発達史及び諸理論（アプローチ）について理解する。 3. 個別援助技術（ケースワーク）の基本的な援助展開過程を理解する。 4. 個別援助技術（ケースワーク）の援助展開過程で用いられる専門技術について理解・習得する。 5. 個別援助技術（ケースワーク）における価値・倫理、専門性について理解する。 6. 個別援助技術（ケースワーク）を実践する福祉専門職者としての自己について考察する。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション				講義
2	社会福祉援助技術とソーシャルケースワーク				講義
3	個別援助技術（ケースワーク）とは何か。個別援助技術の歩みと理論。				講義
4	個別援助技術の目的と価値				講義
5	個別援助技術の援助過程（アプローチ）				講義
6	個別援助技術の基本原則				講義
7	個別援助技術の展開過程と関連援助技術 1				講義
8	個別援助技術の展開過程と関連援助技術 2				講義
9	個別援助技術の展開過程と関連援助技術 3				講義
10	個別援助技術の面接と方法 1				講義
11	個別援助技術の面接と方法 2				講義
12	個別援助技術の面接と方法 3				講義
13	個別援助技術の専門性および対人援助の専門職者としての自分を理解する。				講義
14	全体のまとめ 1				講義
15	全体のまとめ 2				講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		シリーズ基礎からの社会福祉 2 社会福祉援助技術論	基礎からの社会福祉 編集委員会	ミネルヴァ書房	2,600円
		ソーシャル・ケース・ワークとは何か	メアリー・E. リッチ モンド著/小松源助訳	中央法規出版	1991
参考書		ケースワークの原則：援助関係を形成 する技法, 新訳改訂版		誠信書房	2006
その他の資料					
【評価方法】 出席状況及び受講態度（40%） 最終試験（60%）			【履修上の留意点】		